

令和4年度 予算のあらまし

令和4年2月



東京二十三区清掃一部事務組合

目 次

1	予 算 編 成 の 基 本 方 針	1
2	歳 入 歳 出 予 算 の 概 要	2
3	主 な 特 色 項 目	4
4	施 設 整 備 事 業 一 覧	12
5	財政調整基金と組合債の状況	13
6	特 別 区 分 担 金 納 付 額 等	14

注 記

グラフ・表中等の年度表記については、「H○年度」は「平成○年度」、「R○年度」は「令和○年度」を表します。

1 予算編成の基本方針

令和4年度予算は、「安全で安定的な中間処理」を持続可能なものとするために、新型コロナウイルス感染症による社会経済状況の変化に的確に対応し、中長期的な視点をもった財政運営を行っていくとの観点から、以下の8つの方針に基づき編成しました。

《編成方針》

- 1 各部（局、室）長、会計管理者においては、各々予算編成方針を明確に定め、所管内に周知すること。また、計画事業の見直しを含め、最大限経費の抑制・削減に努め、厳しく部（局、室）内査定を行うこと。
- 2 「経常的経費」については、義務的経費や一部の固定的な費用を除き、原則として、前年度予算額を下回る予算要求とすること。
事業の必要性を見極め、実施時期を含めて再検討し、真に必要な経費のみを計上するとともに、創意工夫を発揮し、徹底的な無駄の排除を行うこと。
- 3 「臨時的経費」のうち、新規事業及びレベルアップ事業の要求は、原則として認めない。
- 4 過去の決算状況を分析し、実績を踏まえた見積りを行うこと。
全ての契約行為の予算の見積りに当たっては、直近の契約実績を反映させ、より実績に近い金額で予算要求すること。
- 5 職員定数については、別に定める「令和4年度組織及び職員定数について」に基づき適正化を図り、より効率的かつ効果的な執行体制を構築すること。
- 6 施設の建設、改築及び改修については、仕様内容の十分な精査と社会経済状況の変化による影響分析を実施した上で、建設コスト等の縮減に努めること。
- 7 複数の部課に関係する事業については、情報共有と調整の徹底により、効率的な要求とするよう留意すること。
- 8 歳入の見積りについては、国庫支出金に係る国の予算編成の動向等を注視し、確実に財源を確保すること。自主財源については、精緻な分析を行い、最大限の収入を見込むこと。

2 歳入歳出予算の概要

令和4年度の一般会計予算の総額は、1,024億600万円となり、対前年度99億7,600万円、10.8%の増となりました。内訳は、3ページの表のとおりです。

歳入では、「分担金及び負担金」として特別区分担金が420億円、対前年度30億円、7.7%の増としました。特別区分担金の区別納付額等については、14ページに記載しています。

施設整備費に係る特定財源については、建替えに係る「循環型社会形成推進交付金」が1億1,732万7千円の減、延命化及び再稼働事業に係る「二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金」が16億8,773万2千円の増、「組合債」が58億4,700万円の増となりました。

また、財源調整のため、「繰入金」として財政調整基金から79億7,400万円の繰入れを行います。財政調整基金については、令和4年度末で185億5,200万円の残高見込みとなっています。

次に歳出では、清掃工場等の維持管理及び運営に要する経費である「清掃費」は1億5,635万6千円、0.4%の増となりました。施設の老朽化に伴う工場等の運営経費が高止まりする中、最小限の増額に抑えました。

清掃工場の建設等に要する経費である「施設整備費」は、100億1,132万5千円、31.6%の増となりました。これは、目黒清掃工場の建替え、港清掃工場の延命化、大田清掃工場第一工場の再稼働工事が最終年度を迎えることや、その他既設清掃工場の設備整備を計画的に進めていくことによるものです。

職員費は、107億5,955万5千円で、対前年度2,455万1千円、0.2%の減となりました。

組合債の償還等に要する経費である「公債費」は、定時償還の進捗により、対前年度1億6,066万2千円、3.9%の減となりました。

＜ 令和4年度 一 般 会 計 予 算 ＞

○ 歳 入 歳 出 予 算		102,406,000 千円
○ 債 務 負 担 行 為	15件	66,062,589 千円
○ 組 合 債	5件	20,187,000 千円

【歳 入 歳 出 予 算】

歳 入

(単位：千円、%)

区 分		本年度		前年度		比較増（△）減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
1	分 担 金 及 び 負 担 金	42,000,000	41.0	39,000,000	42.2	3,000,000	7.7
2	使 用 料 及 び 手 数 料	13,022,747	12.7	13,060,471	14.1	△37,724	△0.3
	うち廃棄物処理手数料	13,015,261	12.7	13,053,283	14.1	△38,022	△0.3
3	国 庫 支 出 金	8,589,493	8.4	7,032,326	7.6	1,557,167	22.1
	うち循環型社会形成推進交付金	5,964,792	5.8	6,082,119	6.6	△117,327	△1.9
	うち二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金	2,623,138	2.6	935,406	1.0	1,687,732	180.4
4	財 産 収 入	10,430	0.0	15,120	0.0	△4,690	△31.0
5	寄 附 金	1,300	0.0	1,300	0.0	0	0.0
6	繰 入 金	7,974,000	7.8	10,217,000	11.1	△2,243,000	△22.0
7	繰 越 金	300,000	0.3	300,000	0.3	0	0.0
8	諸 収 入	10,321,030	10.1	8,463,783	9.2	1,857,247	21.9
9	組 合 債	20,187,000	19.7	14,340,000	15.5	5,847,000	40.8
歳 入 合 計		102,406,000	100.0	92,430,000	100.0	9,976,000	10.8

歳 出

(単位：千円、%)

区 分		本年度		前年度		比較増（△）減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
1	議 会 費	9,954	0.0	10,133	0.0	△179	△1.8
2	総 務 費	1,248,974	1.2	1,251,778	1.4	△2,804	△0.2
3	清 掃 費	86,164,487	84.2	75,996,806	82.2	10,167,681	13.4
	清 掃 費	44,472,529	43.5	44,316,173	47.9	156,356	0.4
	施 設 整 備 費	41,691,958	40.7	31,680,633	34.3	10,011,325	31.6
4	職 員 費	10,759,555	10.5	10,784,106	11.7	△24,551	△0.2
	総 務 職 員 費	3,151,468	3.1	3,175,753	3.5	△24,285	△0.8
	清 掃 職 員 費	7,608,087	7.4	7,608,353	8.2	△266	0.0
5	公 債 費	3,917,525	3.8	4,078,187	4.4	△160,662	△3.9
	うち組合債元利償還金	3,917,519	3.8	4,078,181	4.4	△160,662	△3.9
6	諸 支 出 金	5,505	0.0	8,990	0.0	△3,485	△38.8
7	予 備 費	300,000	0.3	300,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計		102,406,000	100.0	92,430,000	100.0	9,976,000	10.8

3 主な特色項目

1 焼却灰の資源化

循環型社会づくりの
一翼を担う清掃一組

【焼却灰の資源化】

予算額 35億9,883万3千円

<目的・ねらい>

最終処分量の削減を図り、循環型社会づくりを進めるため、ごみ焼却灰を資源化する。

<事業内容>

最終処分量の削減を推進するため、71,000tの資源化を計画する。そのうち69,250tは、主灰のセメント原料化、焼却灰の徐冷スラグ化及び焼却灰の焼成砂化を本格実施する。残り1,750tは、新たな搬入先及び輸送経路について実証確認を行う。

◆本格実施 : 69,250 t

鉄道 : 52,550 t
船舶 : 8,900 t
車両 : 7,800 t

◆実証確認 : 1,750 t

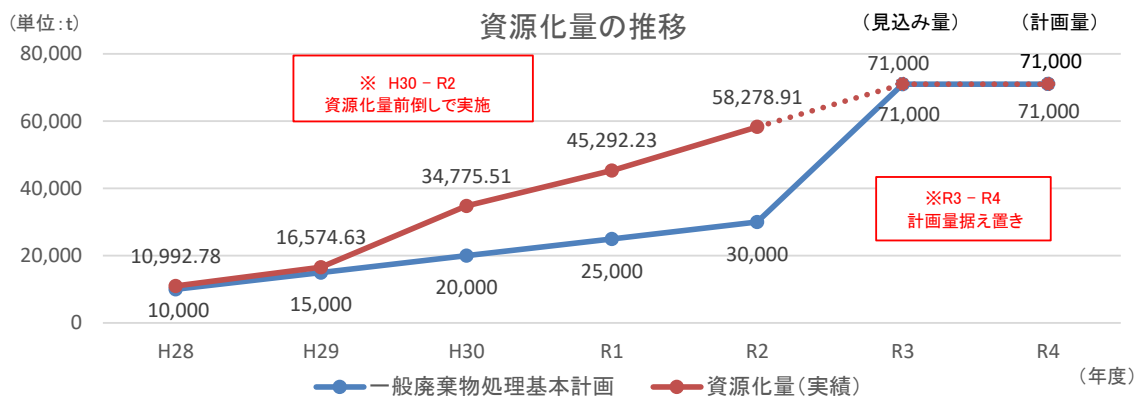
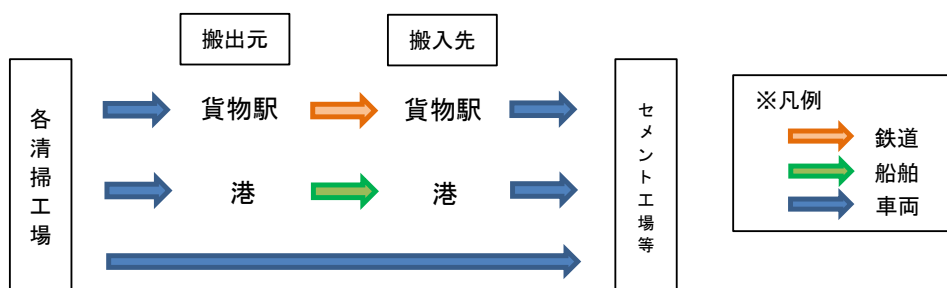
鉄道 : 650 t
船舶 : 100 t
車両 : 1,000 t



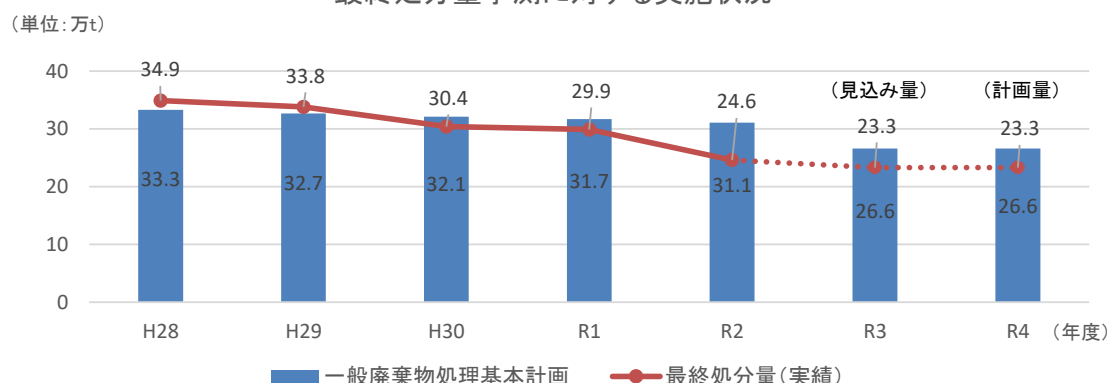
【焼却灰搬出の様子】

【運搬手段】

- ① 鉄道
- ② 船舶
- ③ 車両



最終処分量予測に対する実施状況



2 清掃事業国際協力の推進

循環型社会づくりの
一翼を担う清掃一組

【清掃事業国際協力】

予算額 1,129万6千円

①海外諸都市への技術的助言

<目的・ねらい>

23区とともに、環境省等が進める海外諸都市への支援事業に継続的に参加し、現地行政担当者等に対して、ごみの分別・収集や清掃工場の建設・運営に関する知見を伝え、環境対策等を助言していく。

<事業内容>

- ・事業実施可能性調査（FS）等への参加
- ・オンラインによる技術的助言
- ・国等の要請に基づいた国際会議への職員の派遣

【事業経費】

660万8千円

②海外人材の育成支援

<目的・ねらい>

廃棄物問題の根本的な解決には、海外人材の育成が不可欠となっている。国や関係機関からの研修生の受入れの要請等に対し、23区とともに、効果的な学習の機会を提供していく。

<事業内容>

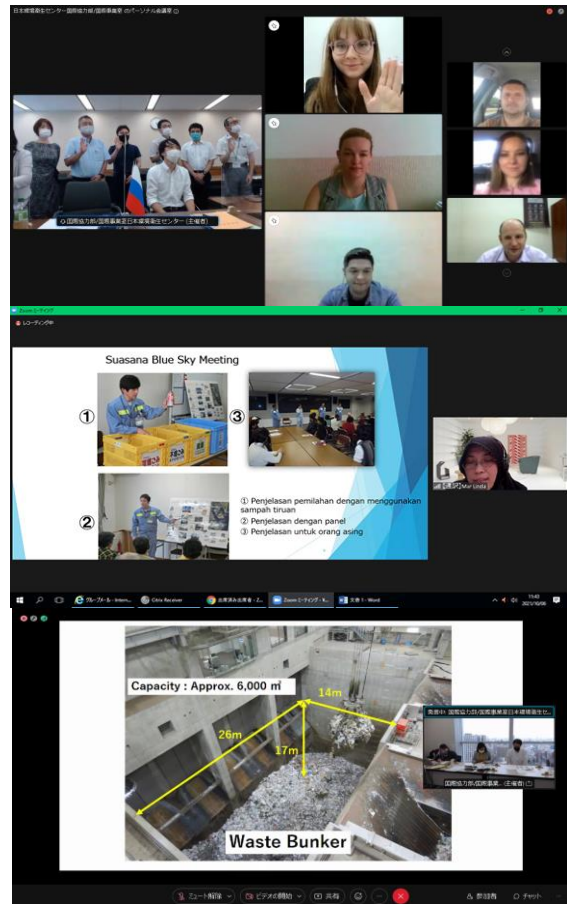
- ・海外人材育成支援に係る映像資料の作成
- ※オンライン形式の研修の増加に伴い、実際の収集現場等を見学することが難しくなっていることから、分別・収集・3Rについて研修生の理解を深めやすくするための映像資料を作成する。
- ・研修資料や23区清掃事業のPRパンフレットの作成

【事業経費】

327万1千円

～グローバルな貢献と

地域のアクションを結ぶ～



【オンラインによる技術的助言及び研修生受入れの様子】(令和3年度)

③パートナーシップの推進

<目的・ねらい>

国際貢献を区民理解や関係機関とのパートナーシップの構築、人材育成につなげ、さらに質の高い持続可能な国際協力事業を推進していく。

<事業内容>

- ・23区イベント事業への出展や事業紹介パンフレットの配布等による国際協力事業に係る区民向け広報の充実
- ・清掃事業国際協力検討委員会等による関係機関との連携
- ・清掃事業国際協力に係る職員向け勉強会の実施やインターナショナル・ジャーナル(情報誌)の発行等による職員の人材育成

【事業経費】

84万2千円



【区主催環境イベントにおける出展の様子】
(令和3年11月)

3 適正な維持・管理の継続

安全で安定的な
運営を行う清掃一組

【定期点検補修工事等】

予算額 65億4,634万円



【蒸気タービンの開放点検(発電設備)】

＜目的・ねらい＞

清掃工場では、定期的に工場を停止し、労働安全衛生法や電気事業法により義務づけられた検査を行うとともに、計画的にごみ処理ができるように点検及び補修を行い、設備の性能を維持させるための工事を行う。

＜事業内容＞

清掃工場の安全・安定的な運営のため、焼却炉本体設備、ボイラ設備や発電設備等について、計画的に点検及び補修を行う。

【対象工場】全清掃工場

【基幹設備整備工事】

予算額 48億2,824万2千円

＜目的・ねらい＞

清掃工場の稼働年数や焼却負荷による劣化状況に応じて、プラントの各設備の大規模更新を行う。

整備工事の一例：耐火物の整備

＜事業内容＞

経年劣化等により損耗が進行している耐火物の整備を実施する。

【対象工場】有明・千歳・新江東・渋谷・中央・板橋・品川・葛飾・世田谷清掃工場

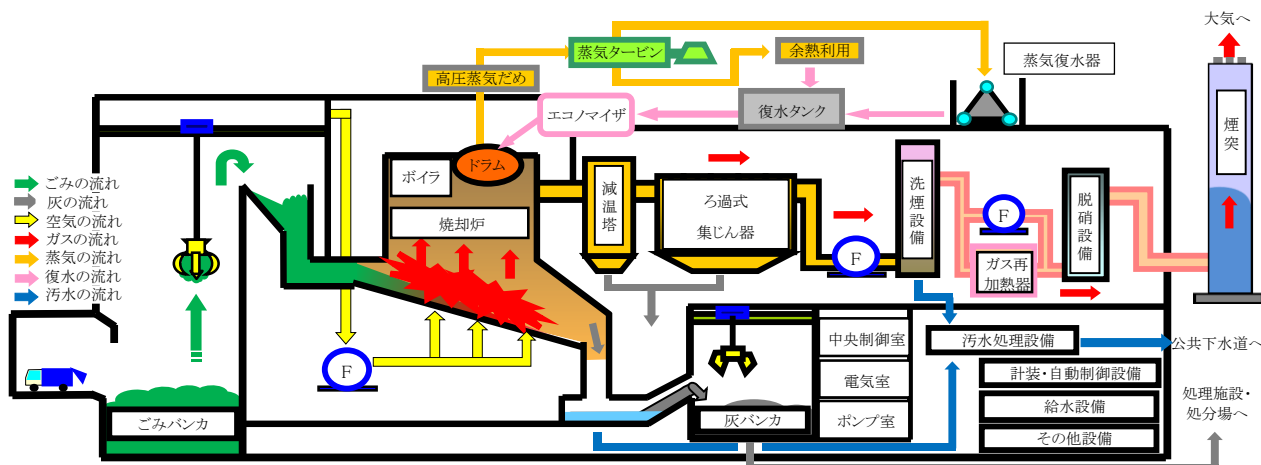
【事業経費】9億79万5千円



【耐火物施工前】



【耐火物施工後】



【清掃工場のしくみ】

4 計画的な施設整備の推進

安全で安定的な
運営を行う清掃一組

【清掃工場の建替え】

予算額 254億9,854万8千円

<目的・ねらい>

一般廃棄物処理基本計画に基づき、可燃ごみの安定的な全量焼却体制を維持するため、老朽化した既設清掃工場の建替えを順次計画的に進めている。

①目黒清掃工場



【工事状況写真】(令和3年10月)

<事業内容>

- ・令和4年度は工事6年目（最終年度）
- ・前年度から引き続き建設工事を実施するほか、歩道状空地整備、工事監理、環境影響事後調査を実施する。

【事業経費】

203億5,202万9千円

（施設整備期間経費見込 549億3,621万7千円）

【施設整備期間】

平成29年度～令和4年度（6年間）

【規模(炉・基数)/発電設備】

300 t / 日・炉×2基

蒸気タービン発電機（21,500kW）

工場の特徴

「地域にとけ込み、親しまれる清掃工場」を基本コンセプトとし、緩衝緑地や目黒川との連続性のある緑化、工場棟や管理棟、煙突等の屋上や壁面を緑化することで、景観に配慮する。構内道路にカバーや防音壁を設置し、高さを抑えた階段状のデザインにより周辺環境との調和を図る。

②江戸川清掃工場

<事業内容>

- ・令和4年度は工事3年目
- ・前年度から引き続き解体工事を実施するほか、建設工事に着手する。併せて、工事監理を実施する。

【事業経費】

51億4,651万9千円

（施設整備期間経費見込 539億8,907万1千円※）

※R4.2月現在の計画値

【施設整備期間】

令和2年度～令和9年度（8年間）

【規模(炉・基数)/発電設備】

300 t / 日・炉×2基

蒸気タービン発電機（約21,000kW）



【工事状況写真】(令和3年10月)

工場の特徴

「水とみどりに調和した、地域にやさしい清掃工場」を基本コンセプトとし、「環境との共生」、「エネルギーの有効活用」、「施設の強靱化」を掲げ、地域と共生する身近で親しまれる清掃工場を目指していく。

4 計画的な施設整備の推進

安全で安定的な
運営を行う清掃一組

【清掃工場の延命化】

予算額 63億2,876万2千円

<目的・ねらい>

一般廃棄物処理基本計画に基づき、定期点検補修工事期間では実施できない設備及び建築物について更新及び改修工事を行い、清掃工場の延命化を図る。

①港清掃工場



【発電機更新状況写真】(令和3年11月)

<事業内容>

- ・平成11年1月のしゅん工から20年以上が経過
- ・令和4年度は工事3年目（最終年度）
- ・令和20年頃（計画耐用年数：40年）まで安定的に稼働させるため、令和4年度は主にプラント設備及び周回道路改修等の延命化工事を実施する。

【事業経費】

56億1,836万2千円

（施設整備期間経費見込 95億6,031万3千円）

【施設整備期間】

令和2年度～令和4年度（3年間）

【規模(炉・基数)】

300 t / 日・炉×3基

スケジュール

令和3年度に3号炉の延命化工事を完了し、令和4年度は1号炉及び2号炉の工事を完了させることで、23区から発生するごみの安定的な全量処理体制を確保する。

②千歳清掃工場

<事業内容>

- ・平成8年3月のしゅん工から25年以上が経過
- ・令和17年頃（計画耐用年数：40年）まで安定的に稼働させるため、令和4年度は主にプラント設備及びクレーン設備の延命化工事の機器製作を実施する。

【事業経費】

7億1,040万円

（施設整備期間経費見込 68億836万6千円）

【施設整備期間】

令和5年度～令和6年度（2年間）

【契約・機器製作期間】

令和4年度（1年間）

【規模(炉・基数)】

600 t / 日・炉×1基



【工場全景写真】(令和3年11月)

スケジュール

令和5年度から工事を開始し、令和6年度までに整備を完了させることで、23区から発生するごみの安定的な全量処理体制を確保する。

4 計画的な施設整備の推進

安全で安定的な
運営を行う清掃一組

【清掃工場の再稼働】

予算額 63億296万8千円

<目的・ねらい>

大田清掃工場第一工場は平成2年3月にしゅん工し、約24年の稼働期間を経て平成25年度末に休止となった。今後、発生するごみの安定的な全量焼却体制の確保に万全を期するため、大田清掃工場第一工場を再稼働する。

①大田清掃工場第一工場

<事業内容>

- ・令和4年度は工事4年目（最終年度）
- ・前年度から引き続きプラント設備機器の更新及び整備を実施するほか、建築設備の工事を実施する。

【事業経費】

63億296万8千円

（施設整備期間経費見込 188億3,582万円）

【施設整備期間】

令和元年度～令和4年度（4年間）

【規模(炉・基数)】

200 t / 日・炉×3基



【外壁補修後状況写真】(令和3年10月)

スケジュール

3炉あるうちの1炉は令和2年度に稼働。残りの2炉については令和4年度までに整備を完了させることで、23区から発生する今後のごみ量的変化や不測の事態等にも対応できる体制を確保する。

清掃工場の整備スケジュール

主な建替等	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目黒工場建替(期間:H29～R4年度)	152億円	204億円		
江戸川工場建替(期間:R2～R9年度)	67億円	51億円	36億円	64億円
北工場建替(期間:R5～R11年度)			61億円	38億円
港工場延命化(期間:R2～R4年度)	26億円	56億円		
千歳工場延命化(期間:R4～R6年度)		7億円	4億円	57億円
新江東工場延命化(期間:R6～R10年度)				11億円
大田工場第一工場再稼働(期間:R1～R4年度)	35億円	63億円		
合計	280億円	381億円	101億円	170億円

* R3年度は決算見込み額、R4年度は予算額、R5年度以降はR4.2月現在の計画値。

* R4年度千歳工場延命化は契約・機器製作期間。

* 北工場建替はR4年度末契約予定。

5 効果的な電力売却

効率的でスリムな
経営を行う清掃一組

【電力エネルギー売払収入】

予算額 96億3,793万3千円

<目的・ねらい>

ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電や熱供給に有効利用し、それらを清掃工場内で使用して、余った電気を電気事業者へ売却することにより、収入を確保する。

<事業内容>

工場建替え時に発電効率を高め、収入確保に努めるとともに、東京エコサービス株式会社と連携した電力売却により、収益の増加を図る。

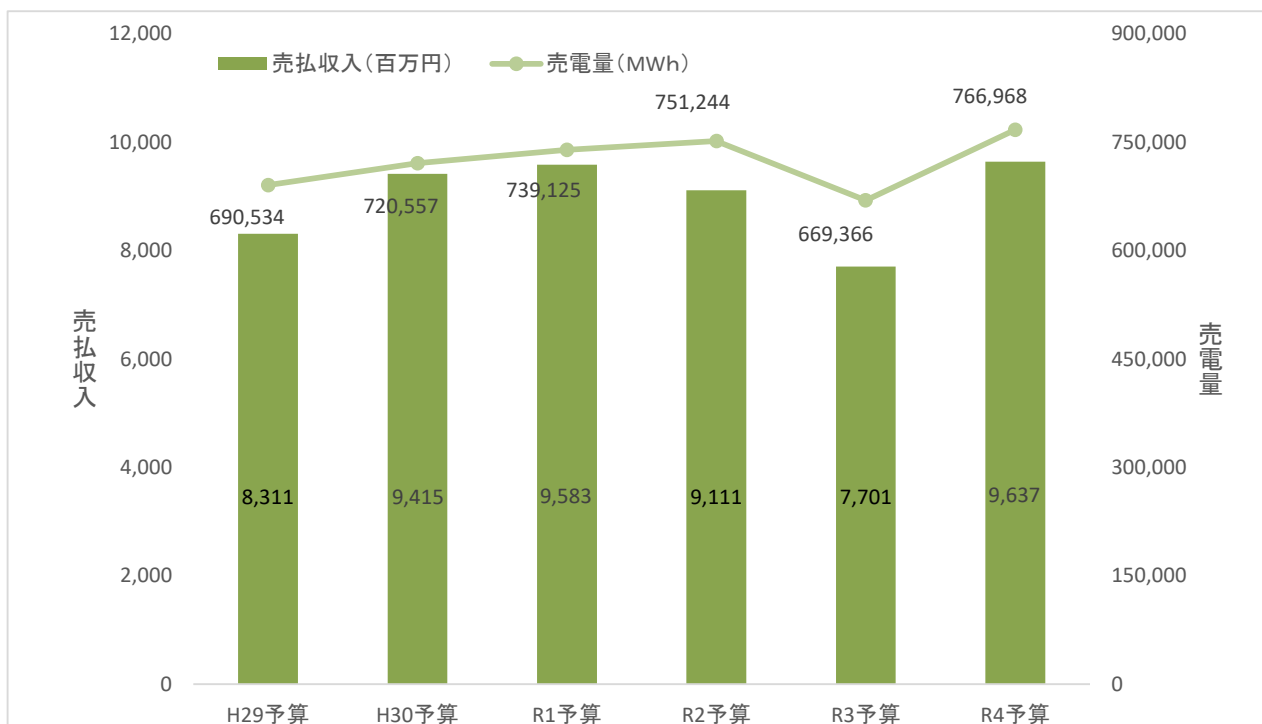
《収入内訳》

余剰電力の売払収入 96億3,793万3千円(対前年度19億3,644万6千円の増)

主な増理由

- ・ 売電単価の上昇 約8億1,000万円増
(売電単価(税込) R3 11.51円/kWh → R4 12.57円/kWh)
- ・ ごみ搬入量及び単位売電量の増加 約8億4,000万円増
(ごみ搬入量 R3 254万t → R4 276万t)
(単位売電量 R3 276kWh/t → R4 278kWh/t)
- ・ 自己託送送電電力量の減少 約2億9,000万円増
(送電電力量 R3 6,900万kWh → R4 3,200万kWh)

《売払収入額と売電量の推移(予算ベース)》



5 効果的な電力売却

効率的でスリムな
経営を行う清掃一組

《自己託送制度の活用拡大～電力の地産地消～》

＜目的・ねらい＞

清掃工場で発電した電力を、清掃一組の別の施設で使用することで「電力の地産地消」が可能となる。この制度の活用により、二酸化炭素（CO₂）排出量及び電気料金が削減され、環境面及び財政面への効果を図る。

＜事業内容＞

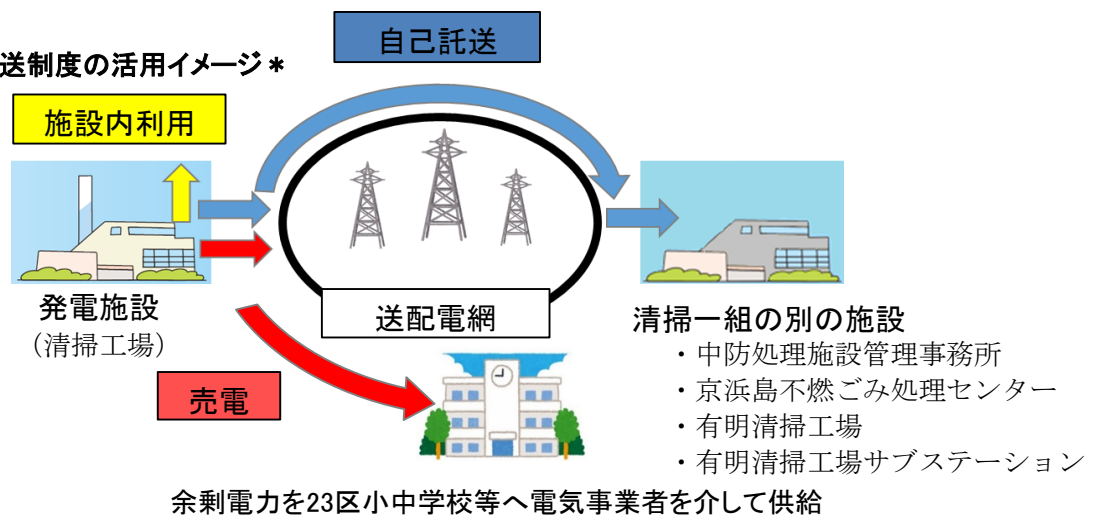
電力供給先施設数を2施設から4施設に増やし、電力供給形態は全量供給型を継続して、CO₂排出量及び電気料金の削減を行う。

～自己託送制度による財政効果～

	本 年 度	前 年 度	対 前 年
a 売電収入減額	約3億1,000万円	約6億円	約2億9,000万円
b 買電支出減額	約4億2,000万円	約8億円	約3億8,000万円
財政効果※	約1億1,000万円	約2億円	約9,000万円

※財政効果 = b - a

* 自己託送制度の活用イメージ *



《非化石証書を活用した電力の地産地消と売却》

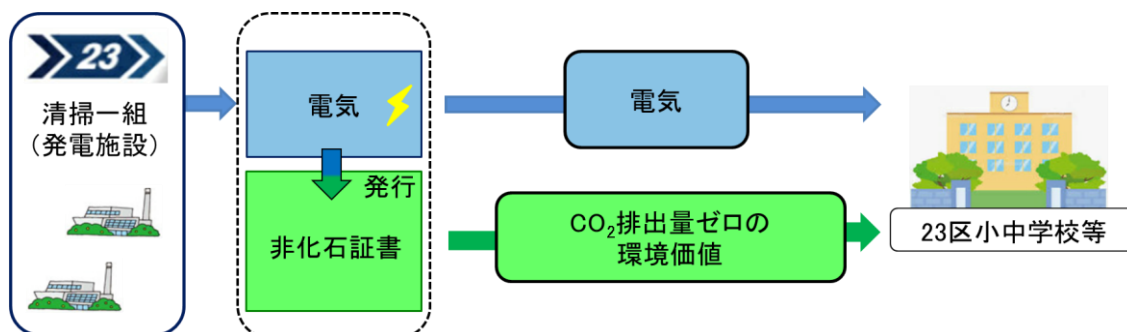
＜目的・ねらい＞

清掃一組が売却する余剰電力は、電力本来の価値に加え、地球温暖化対策の推進に関する法律上、CO₂を排出しないエネルギーとしての環境価値を有している。その環境価値を証明する「非化石証書」を発行し、電力価値と環境価値の双方を売却することで安定的な売電収入の維持を見込む。

＜事業内容＞

23区小中学校等へ電気とともに非化石証書を発行することで、環境価値のある電力の地産地消が期待できる。

* 電気・非化石証書取引イメージ *

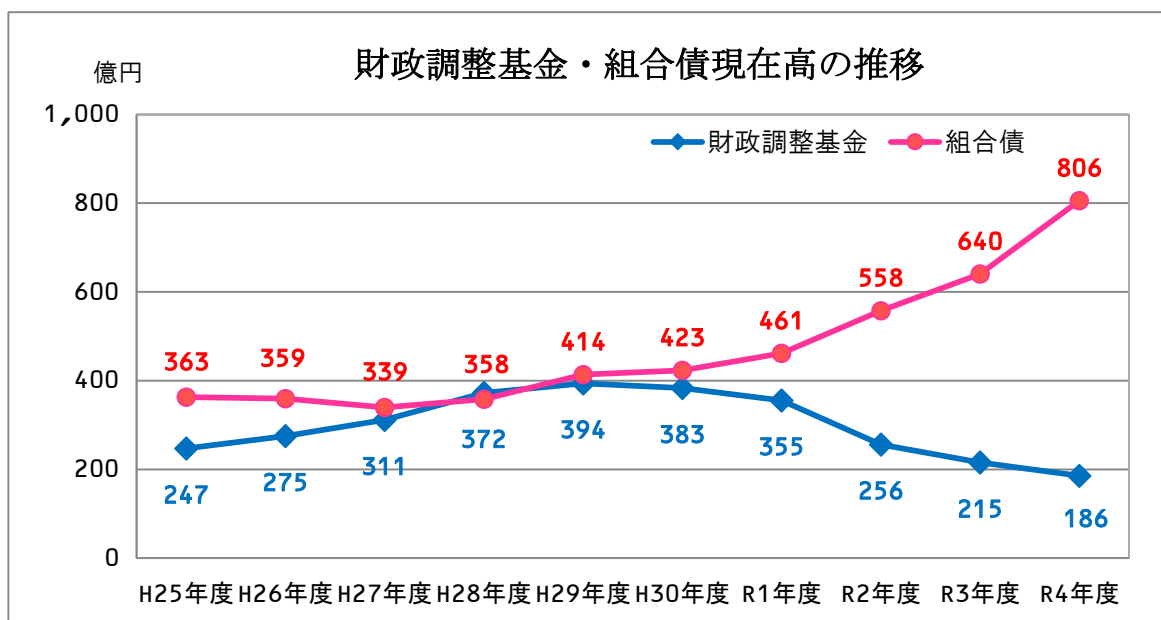


4 施設整備事業一覧

(単位：千円)

区 分	整 備 内 容	事 業 費
清掃工場の建設	一般廃棄物処理基本計画に基づく清掃工場の建替工事等	25,557,123
渋谷清掃工場	未買収用地の取得等	5,346
光が丘清掃工場	建替事業に伴う事後調査委託	7,516
目黒清掃工場	建替工事等	20,352,029
江戸川清掃工場	建替工事等	5,146,519
世田谷清掃工場	建替事業環境影響評価書作成委託等	45,713
清掃工場の延命化	一般廃棄物処理基本計画に基づく清掃工場の延命化工事等	6,469,057
港清掃工場	プラント設備更新工事等	5,618,362
千歳清掃工場	プラント設備更新工事（契約・機器製作）等	710,400
新江東清掃工場	プラント設備劣化調査委託等	140,295
清掃工場の施設整備	機能の維持、向上を図るための既設清掃工場の改修工事等	3,357,953
公害監視設備整備	新江東、港清掃工場等	197,862
建築設備等整備	千歳、墨田清掃工場等	701,771
その他設備整備	葛飾、有明清掃工場等	2,458,320
清掃工場の再稼働	今後の安定的なごみ処理体制を維持するための清掃工場の整備工事等	6,302,968
大田清掃工場第一工場	プラント設備工事等	6,302,968
事務費		4,857

5 財政調整基金と組合債の状況



(単位：百万円)

財政調整基金	年 度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	繰 入 額	6,230	10,390	3,000	1,866	4,898
	積 立 額	11,256	13,189	6,634	7,972	7,057
	年度末現在高	24,692	27,491	31,125	37,231	39,390
	年 度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	繰 入 額	7,300	8,773	10,959	10,217	7,974
	積 立 額	6,230	6,001	1,030	6,124	5,000
	年度末現在高	38,320	35,548	25,619	21,526	18,552

組 合 債	年 度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	起 債 額	7,214	6,926	3,978	5,098	8,357
	償 還 元 金	7,898	7,305	5,950	3,226	2,798
	償 還 利 子	502	437	377	305	269
	年度末現在高	36,294	35,915	33,943	35,815	41,374
	年 度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	起 債 額	4,298	7,401	13,494	12,162	20,187
	償 還 元 金	3,354	3,597	3,850	3,879	3,684
	償 還 利 子	267	233	196	191	233
	年度末現在高	42,318	46,122	55,766	64,049	80,552

注1) R2年度までは決算額、R3年度は最終補正予算額、R4年度は当初予算額

ただし、R4年度の基金積立額は見込み額。

注2) 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数整理をしていないため、合計額などとは一致しない場合があります。

6 特別区分担金納付額等

当初額算定

【23区ごみ量実績】 (A)	2,558,746.95 t	【区収集ごみ量相当分担金】	
令和2年度 区収集ごみ量23区計	1,821,458.85 t	(G) = (D) × (B)	38,926,198千円
区収集ごみ量割合 (B)	71.186%	【持込ごみ量相当分担金基礎額】	
令和2年度 持込ごみ量23区計	737,288.10 t	(H) = (D) × (C)	15,756,181千円
持込ごみ量割合 (C)	28.814%	【持込ごみ量相当分担金】	
【分担金算出基礎額】 (D)	54,682,379千円	(I) = (H) - (F)	3,073,802千円
令和4年度 分担金23区計(E)【予算額】	42,000,000千円		
令和4年度 手数料収入計 (F)【予算額】	12,682,379千円		
【区別持込ごみ量】	737,260.37 t		

(単位：千円)

区分 区名	本来の分担金									清掃負担の公平	負担の公平調整後
	区収集ごみ量相当分			持込ごみ量相当分			分担金納付額			各区の 負担の調整額	令和4年度 区別分担金 実納付額
	区収集ごみ量 (トン)	割合	区収集相当分 当初額	持込ごみ量 (トン)	割合	持込相当分 当初額	令和4年度 区別分担金 当初額計	令和2年度 区別分担金 清算額	令和4年度 区別分担金 納付額		
	a	b	c = (G×b)	d	e	f = (I×e)	g = (c+f)	h	i = (g+h)	j	k = i + j
千代田	15,500.71	0.851%	331,262	44,339.24	6.014%	184,858	516,120	△ 87,003	429,117	26,828	455,945
中央	34,826.30	1.912%	744,269	42,611.77	5.780%	177,666	921,935	△ 121,241	800,694	△ 22,964	777,730
港	53,938.92	2.961%	1,152,605	63,136.21	8.564%	263,240	1,415,845	△ 141,218	1,274,627	△ 31,924	1,242,703
新宿	70,805.30	3.887%	1,513,061	53,295.19	7.229%	222,205	1,735,266	△ 107,101	1,628,165	54,887	1,683,052
文京	44,114.09	2.422%	942,793	15,863.75	2.152%	66,148	1,008,941	787	1,009,728	26,303	1,036,031
台東	41,341.86	2.270%	883,625	24,617.96	3.339%	102,634	986,259	△ 60,034	926,225	29,323	955,548
墨田	55,423.01	3.043%	1,184,524	17,997.88	2.441%	75,031	1,259,555	2,074	1,261,629	△ 23,069	1,238,560
江東	93,237.35	5.119%	1,992,632	43,597.87	5.914%	181,785	2,174,417	24,105	2,198,522	△ 126,132	2,072,390
品川	76,288.92	4.188%	1,630,229	28,881.37	3.917%	120,401	1,750,630	42,348	1,792,978	△ 14,449	1,778,529
目黒	55,613.30	3.053%	1,188,417	17,399.22	2.360%	72,542	1,260,959	40,374	1,301,333	15,512	1,316,845
大田	134,664.45	7.393%	2,877,814	59,354.17	8.051%	247,472	3,125,286	55,550	3,180,836	△ 30,277	3,150,559
世田谷	182,034.66	9.994%	3,890,284	39,327.47	5.334%	163,957	4,054,241	145,447	4,199,688	9,206	4,208,894
渋谷	52,101.01	2.860%	1,113,289	45,304.24	6.145%	188,885	1,302,174	△ 52,285	1,249,889	22,673	1,272,562
中野	58,320.44	3.202%	1,246,417	12,318.29	1.671%	51,363	1,297,780	4,251	1,302,031	31,344	1,333,375
杉並	100,663.68	5.527%	2,151,451	22,419.46	3.041%	93,474	2,244,925	51,164	2,296,089	△ 19,437	2,276,652
豊島	55,104.95	3.025%	1,177,518	28,770.35	3.902%	119,940	1,297,458	△ 25,210	1,272,248	2,819	1,275,067
北	66,010.86	3.624%	1,410,685	16,200.98	2.197%	67,531	1,478,216	△ 7,184	1,471,032	△ 16,089	1,454,943
荒川	42,101.16	2.311%	899,585	9,359.40	1.269%	39,007	938,592	2,784	941,376	23,044	964,420
板橋	106,585.23	5.852%	2,277,961	28,125.21	3.815%	117,266	2,395,227	23,382	2,418,609	13,960	2,432,569
練馬	133,306.96	7.319%	2,849,008	26,607.88	3.609%	110,934	2,959,942	97,078	3,057,020	△ 8,000	3,049,020
足立	132,742.02	7.288%	2,836,941	39,728.77	5.389%	165,647	3,002,588	50,182	3,052,770	8,658	3,061,428
葛飾	86,549.04	4.752%	1,849,773	22,147.41	3.004%	92,337	1,942,110	38,294	1,980,404	△ 8,555	1,971,849
江戸川	130,184.63	7.147%	2,782,055	35,856.28	4.863%	149,479	2,931,534	23,456	2,954,990	36,339	2,991,329
合計	1,821,458.85	100.000%	38,926,198	737,260.37	100.000%	3,073,802	42,000,000	0	42,000,000	0	42,000,000

